

(1) 委託業務の実施状況及び施設等の利用状況

・利用許可

「とっとりバイオフロンティアの設置及び管理に関する条例」、「とっとりバイオフロンティア施設設備及び機器の開放及び管理に関する規則」に基づき、利用許可を行った。

1か月以上の実験室、居室、動物飼育室及びオープンラボの利用許可にあたっては条例、規則及び「とっとりバイオフロンティア入居審査要領」に基づき、入居者選定審査会において審査し、バイオフロンティアの設置目的をより効果的に達成できると認められる者等に対し利用許可を行った。

審査委員：鳥取県商工労働部産業未来創造課長
 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター食品開発研究所研究員
 公益財団法人鳥取県産業振興機構とっとりバイオフロンティア施設長

入居者

オープンラボ		染色体工学共同研究拠点 鳥取大学染色体工学研究センター	H3年5月1日～
居室	301	公益財団法人鳥取バイオサイエンス振興会 社団法人生命医科学研究ステーション	H23年5月12日～ R6年12月23日～（共同利用）
	302	株式会社 Trans Chromosomics	H27年4月1日～
	303	カノンキュア株式会社	R5年4月1日～
	304	株式会社 POC	R6年9月1日～
実験室	311	株式会社 Trans Chromosomics	H27年4月1日～
	312	公益財団法人鳥取バイオサイエンス振興会 株式会社 POC	R4年11月1日～ R6年9月1日～（共同利用）
	313	株式会社 Trans Chromosomics	H30年8月15日～
	314	カノンキュア株式会社	R5年4月1日～
動物飼育室	321	株式会社 Trans Chromosomics	H28年5月1日～
	322	鳥取大学染色体工学研究センター	R2年4月30日～
	323	株式会社 Trans Chromosomics	R2年7月1日～
	324	株式会社 Trans Chromosomics	R6年4月1日～

○施設・開放機器等の利用状況

・施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実験室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
居室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
動物飼育室	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
オープンラボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
研修室(推進室利用分も含む)	16	23	13	19	21	13	23	20	31	18	18	11	226

・開放機器利用状況（件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器	2,211	2,387	2,346	2,571	2,424	2,442	2,547	2,372	2,418	2,156	2,039	2,235	28,148
傾斜型バイオクリーンベンチ	25	39	37	78	68	53	47	37	37	42	50	53	566
安全キャビネット	52	39	55	49	41	51	59	38	35	27	36	46	528
オートクレーブ	12	17	19	22	16	17	19	13	14	16	14	14	193
倒立型蛍光顕微鏡	0	0	0	7	3	3	1	3	1	3	3	1	25
実体顕微鏡	1	0	1	0	3	3	6	18	3	2	0	0	37
オールインワン顕微鏡	50	55	56	64	62	70	42	25	50	11	20	27	532
インキュベータ顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
セルアナライザ	45	52	46	70	49	45	60	51	66	41	35	51	611
発光ライブセルイメージングシステム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
培養細胞リアルタイム発光計測装置	3	10	4	0	5	0	6	4	9	2	12	5	60
大型遠心分離機	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
超遠心分離機	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	2	0	10
小型冷却遠心機	2	1	2	3	0	13	23	4	8	3	1	2	62
化学発光・蛍光検出機	0	1	8	0	0	0	8	4	2	0	0	0	23
ゲル撮影装置	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	8
微量サンプル計測設備	6	5	5	6	7	9	13	11	11	4	7	10	94
分光光度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却大型振とう培養器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却小型振とう培養器	1	0	1	0	3	7	2	2	3	0	0	0	19
大腸菌培養用インキュベーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多検体サンプル粉砕器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホモジナイザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細胞粉砕装置	0	0	0	1	1	2	2	6	0	0	0	1	13
プレートリーダー-EnSight	0	0	2	10	3	1	1	1	3	0	3	0	24
リアルタイムPCR	4	26	41	33	21	26	35	34	30	20	15	7	292
PCRマシン	0	0	0	1	5	0	1	2	6	0	2	2	19
遺伝子抽出装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝子導入装置	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
共焦点顕微鏡	25	41	63	84	64	75	110	145	131	53	69	87	947
共焦点顕微鏡(解析専用)	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
染色体解析専用顕微鏡	5	18	7	7	2	8	6	1	1	3	2	1	61
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)	12	29	9	16	8	12	9	10	12	4	0	1	122
ドラフトチャンバー	4	7	2	6	8	4	13	4	12	3	5	14	82
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクローム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸展器	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高機能クリオスタット	18	11	18	27	10	8	13	14	16	1	7	16	159
感染防止対策用クリオスタット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	1	3	3	6	5	7	4	4	2	3	4	2	44
バイオサンプル粉砕装置	0	0	2	6	1	2	0	1	1	0	2	0	15
生物顕微鏡(ティーチングヘッド付き)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全自動万能型回転マイクローム(樹脂包埋標本対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験用器具自動洗浄機	4	0	3	6	2	5	5	0	2	0	2	1	30
乾熱滅菌乾燥機	5	2	4	7	4	4	6	6	4	4	3	5	54
高感度冷却CCDカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	127	124	120	134	138	140	154	144	135	92	88	93	1,489
CO2インキュベーター(一時利用専用)	17	45	36	62	28	58	37	3	2	0	0	12	300
細胞保存用液体窒素タンク	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190
薬用冷蔵ショーケース	190	218	210	218	217	228	217	195	186	202	200	226	2,507
超低温フリーザー	570	589	570	589	589	570	589	570	589	589	532	564	6,910
薬用保冷库	578	589	570	589	589	570	589	570	581	558	504	591	6,878
薬品冷蔵庫	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	55	1,391
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	0	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	7	14
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
バイオメディカルフリーザー	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825

※推進室の利用分（無料分）の回数を含む集計

・開放機器利用状況（時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放機器(利用時間)<有料のみ>	2,040	2,388	2,300	2,489	2,330	2,267	2,649	2,449	2,590	1,942	2,056	2,242	27,742
傾斜型バイオクリーンベンチ	33	43	52	101	83	72	95	71	80	72	70	80	852
安全キャビネット	86	67	91	106	99	114	145	94	84	46	59	95	1,086
オートクレーブ	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7
倒立型蛍光顕微鏡	0	0	0	9	3	3	1	3	2	3	5	1	30
実体顕微鏡	3	0	2	0	3	7	15	25	9	4	0	0	68
オールインワン顕微鏡	80	102	93	89	80	96	62	48	88	17	35	41	831
インキュベータ顕微鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セルアナライザ	83	109	104	151	108	74	117	109	103	89	75	91	1,213
発光ライブセルイメージングシステム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
培養細胞リアルタイム発光計測装置	69	200	88	0	97	0	104	96	192	48	243	103	1,240
大型遠心分離機	0	0	3	0	0	0	9	0	0	0	0	0	12
超遠心分離機	6	7	0	0	0	0	0	0	0	31	9	0	53
小型冷却遠心機	2	1	2	3	0	19	27	4	4	4	1	2	69
化学発光・蛍光検出機	0	1	8	0	0	0	8	4	2	0	0	0	23
ゲル撮影装置	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
微量サンプル計測設備	7	5	5	6	7	7	13	13	12	4	7	11	97
分光光度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却大型振とう培養器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷却小型振とう培養器	1	0	1	0	3	2	2	2	1	0	0	0	12
大腸菌培養用インキュベーター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多検体サンプル粉砕器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ホモジナイザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細胞粉砕装置	0	0	0	1	1	2	2	6	0	0	0	1	13
プレートリーダー-EnSight	0	0	5	11	5	2	1	2	3	0	2	0	31
リアルタイムPCR	8	39	66	57	26	27	46	44	50	22	24	10	419
PCRマシン	0	0	0	0	0	0	2	5	8	0	3	2	20
遺伝子抽出装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝子導入装置	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
共焦点顕微鏡	71	83	165	223	194	205	303	357	369	128	163	271	2,532
共焦点顕微鏡(解析専用)	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	6
染色体解析専用顕微鏡	16	60	22	28	7	15	14	3	2	9	3	9	188
染色体解析専用顕微鏡(解析専用)	29	68	25	35	13	24	19	31	22	7	0	4	277
ドラフトチャンバー	7	10	2	6	10	6	28	6	20	4	5	22	126
動物組織固定装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小型動物麻酔器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密閉式自動固定包埋装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン包埋ブロック作製装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクローム	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4
パラフィン溶融器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラフィン伸展器	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高機能クリオスタット	42	34	54	69	31	17	33	30	35	2	17	67	431
感染防止対策用クリオスタット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロダイセクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液生化学分析機	1	3	3	6	5	8	4	4	2	5	4	3	48
バイオサンプル粉砕装置	0	0	2	6	1	2	0	1	1	0	2	0	15
生物顕微鏡(ティーチングヘッド付き)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全自動万能型回転マイクローム(樹脂包埋機本対応)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実験用器具自動洗浄機	4	0	3	6	2	5	5	0	3	0	2	1	31
乾熱滅菌乾燥機	5	2	4	7	4	4	5	6	4	4	3	5	53
高感度冷却CODカメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO2インキュベーター	127	124	120	134	138	140	154	144	135	92	88	93	1,489
CO2インキュベーター(一時利用専用)	17	31	30	30	9	47	37	3	2	0	0	11	217
細胞保存用液体窒素タンク	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190
薬用冷蔵ショーケース	130	156	150	156	155	168	155	135	124	140	144	164	1,777
超低温フリーザー	540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	533	6,545
薬用保冷庫	248	248	240	248	248	240	248	240	240	217	196	250	2,863
薬品冷蔵庫	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	55	1,391
プログラムフリーザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパーエレクトロポレーター	0	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	7	14
蛍光実体顕微鏡	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
バイオメディカルフリーザー	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460

※利用時間については利用料金に反映するため、推進室が利用した時間（無料分）は除き、有料部分のみを集計

○各種委員会・部会及び連絡会の実施

月	各種委員会・部会・ ミーティング	産学官関係	その他行事等
4	室内ミーティング (4/7、28) TBF 推進室会議 (4/8) バイオ関連支援協議 (4/10) 研究総監協議 (4/15) R6 指定管理業務確定検査(4/25)		鳥取大学医学部長へ挨拶 (4/21) 人材育成セミナー (4/25)
5	TBF 推進室会議 (5/9) 医工連携協議 (5/19)	Tottori Basic Reserch Forum (5/19)	人材育成セミナー (5/16) 利用者講習会 (5/27) 機器説明会 (5/21) 入居企業ヒアリング (5/23、27、29) 職場巡視① (5/30)
6	TBF 推進室会議 (6/9) 化学物質管理委員会① (6/13)		人材育成セミナー (6/2、20) 沖縄バイオ関連施設視察 (6/3-5) 化学物質セミナー① (6/13) ジャパンヘルス情報収集 (6/24-27)
7	TBF 推進室会議 (7/8) 管理・事務部会 (7/11) 入居企業協議 (7/15) 結露関係協議 (7/29) 医工連携協議 (7/29)		中海テレビ電話取材 (7/3) 機械要素技術展情報収集 (7/9-11) インターフェックス情報収集 (7/9-11) 人材育成セミナー (7/10) 化学物質セミナー② (7/18)) 職員研修 (7/24)
8	TBF 推進室会議 (8/8) 室内ミーティング (8/21)	山脇有尾類研 究所・鳥取大 学連携 環境 学習交流会 (8/3-4)	実験動物2級試験 (8/3) BAMSA バイオセーフティ講習会 (8/5) 科学ワークショップ (8/7) 中海環境フェア in よなご出展 (8/23) 免疫ふしぎ未来 in 米子視察 (8/25) 人材育成セミナー (8/28) 展示会装飾業者プロポーザル審査会 (8/28) 実験動物2級試験スクーリング (8/30-31)
9	入退室システムローカル機器取替工 事協議 (9/5) TBF 推進室会議 (9/8) 企業協議 (9/11) 室内ミーティング (9/18、25)		リスクアセスメント研修会 (9/4) BioJapan2025 出展者説明会 (9/11) 人材育成セミナー (9/23、26)
10	全館空調機器更新設計協議 (10/2) TBF 推進室会議 (10/6) 化学物質委員会② (10/17) 西部連絡協議 (10/17)	鳥取大学工学 部産学官コー ディエーター 協議 (10/24)	職場巡視② (10/2) BioJapan2025 出展 (10/8-10) NexTech Week2025 情報収集 (10/8-10) オスロ大学教授面談 (10/15) 入退室システムローカル機器取替工事 (10/18-19) 県事務監査 (10/20) 日本実験動物技術者協会九州大会 (10/23- 25) メディカルクリエーションふくしま 2025 情 報収取 (10/28)
11	TBF 推進室会議 (11/7) 事業化支援部会 (11/14)		とっとり産業未来フェス (11/3-4) 人材育成セミナー (11/10、11) R8 全館空調機器更新入居者説明会 (11/21)

12	TBF 推進室会議 (12/8) 室内ミーティング (12/8)		とりだい病院パネル展示 (12/1-26) 県本監査 (12/2) R8 入居者審査会 (12/8) 職員研修 (12/9) 化学物質管理規則改正入居者説明会 (12/12) 人材育成セミナー (12/19) 倉吉東高校国際バカロレア教育実習対応 (12/25-26)
1	TBF 推進室会議 (1/9) 室内ミーティング (1/9・1/27) 化学物質管理委員会③ (1/21) 県協議 (1/27)		職場巡視③ (1/8) 救急講習会 (1/20) 関西ビジネスマッチング出展 (1/5-2/27)
2	動物実験委員会 (2/4) TBF 推進室会議 (2/5) 県協議 (2/17) 事業運営委員会 (2/20)	とりだいシン ポジウム (2/13)	中海テレビ取材 (2/3) 米子東高校 SSH 成果発表会見学 (2/3) 関西ビジネスマッチング会 (2/4、2/17、 2/24) 湯梨浜学園 SSH 成果発表会見学 (2/21) 人材育成セミナー (2/27)
3	TBF 推進室会議 (3/6) 県・機構・TBF 協議 (3/12)		KIMES (韓国) 情報収集 (3/18-21) 海外来訪者 (韓国) 面談 (3/24) 展示会装飾業者プロポーザル審査会 (3/26)

○施設管理の状況

a 開館時間・休館日の状況

休館日は、土曜日及び日曜日、国民の祝日、年末年始 (12月29日から1月3日まで) とし、開館時間は、休館日を除く日の9時から17時までとした。

b 個人情報の管理体制

公益財団法人鳥取県産業振興機構個人情報取扱規程 (平成24年4月施行) により、個人情報が適切に保護されるよう配慮するとともに、業務上知り得た情報の漏えい及び目的外使用が生じないよう厳正な管理を行った。

c 情報公開

施設の管理運営に係る情報公開は、公益財団法人鳥取県産業振興機構情報公開規程 (平成24年4月施行) により、適切に処理した。

また、機構のホームページにより事業計画や収支計算書等を公開するとともに、とっとりバイオフロンティアのホームページに利用料金等の施設利用に必要な情報を公開した。

d 保険への加入、点検・保守、警備、清掃等業務について

保険については、施設内での事故や火災に備え、賠償責任保険および火災保険へ加入した。また、高校生向けの科学ワークショップの主催側として、受講者に対しレクリエーション賠償責任保険および障害総合保険に加入した。

性質上職員が処理することが困難であり専門性が高い特殊技術を必要とする点検・保守業務、また施設の安全・衛生を保つ警備や清掃業務等、利用者へ業務の質を高め経費の効率化及び利用者へのサービスの向上が期待できる業務については、外部委託により実施した。

以下の賠償保険、機器火災保険等に参加した。

(単位：円)

保険種類	選定方法	予算額	決算額	随契理由	備考
賠償責任保険	随意契約	40,000	31,670	予定価格が20万円未満のため(1社見積)	事業活動全般の施設・業務遂行におけるリスクが発生した場合の対人・対物が補償されるもの
火災保険	随意契約	650,000	632,000	予定価格が100万円未満のため(3者見積)	JST 機器に係る通常の火災保険等、その他不測かつ突発的な事故等が補償されるもの
障害総合保険	随意契約	24,840	12,690	契約の性質又は目的が競争入札に適しない為	人材育成セミナーの一環として科学ワークショップを開催するに当たり、事故・ケガに備え加入したもの
クレーム賠償責任保険	随意契約	2,000	1,000		

以下の点検・保守業務については外部委託を行い、異常が発見された場合はその都度、修繕を実施した。

(単年度換算 単位：円)

業務名	選定方法	点検回数等	予算額	決算額	期間
自家用電気工作物保守	入札	年6回 (4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月)	288,948	288,948	令和6年4月1日～令和11年3月31日
消防設備保守点検	随意契約	機器点検 年2回 (9月, 3月) 総合点検 年1回(9月)	190,300	190,300	令和6年4月1日～令和11年3月31日
冷暖房機器点検	入札	年2回 (7月, 1月)	709,500	709,500	令和6年4月1日～令和7年3月31日
換気設備点検	入札	年2回 (7月, 1月)	891,000	891,000	令和6年4月1日～令和11年3月31日
非常用発電設備点検	入札	年2回 (5月, 11月)	275,000	275,000	令和6年4月1日～令和11年3月31日
作業環境測定	入札	年2回 (4月, 10月)	440,000	440,000	令和6年4月1日～令和11年3月31日
実験用排水モニターシステム点検	入札	年12回 通常+1年 点検(4月) 通常+分析点検(5月, 8月, 11月, 2月) 通常点検(6月, 7月, 9月, 10月, 12月, 1月, 3月)	1,221,000	1,221,000	令和6年4月1日～令和11年3月31日
昇降機設備点検	随意契約	24H監視 (現場点検は年4回 (5月, 8月, 11月, 2月))	858,000	858,000	令和6年4月1日～令和11年3月31日

加圧給水ポンプ 保守点検	随意 契約	年1回(9月)	79,200	79,200	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日
シャッター設備 点検	県 委託	年1回			

以下の保安警備業務については、外部委託を行った。(単年度換算 単位:円)

業務名	選定方法	予算額 (税抜)	決算額 (税抜)	期間	随契理由
保安警備業務 (防犯・火災)	入札	382,800	382,800	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	

・3F動物飼育室における温度異常が発生した場合に警備会社にも監視依頼し、アラートメールをキャッチしだい、職員へ連絡してもらうこととした。

以下の清掃等の業務については、外部委託を行った。(単年度換算 単位:円)

業務名	選定方法	予算額	契約単価	決算額	期間	随契理由
一般廃棄物収集・不燃物処理業務	随意 契約	108,000	可燃物 処理1kg 20円 運搬1,000円/回 不燃物 処理1kg60円 運搬1,500円/円	100,760	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	契約金額が20万円未満のため(1者単価契約) R7年度も単価に変更なしのため、継続契約とした
産業廃棄物収集・処理業務	随意 契約		廃乾電池 500円/kg 廃蛍光管 500円/kg ガラスくず・廃プラスチック・木くず 60円/kg		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	令和3年契約時以降、R7年度も単価に変更なしのため、継続契約とした
産業廃棄物収集・処理業務	随意 契約	540,000	感染性廃棄物 20ℓペール缶 2,500円/缶 50ℓペール缶 4,500円/缶 45ℓ段ボール箱 2,500円/箱 非感染性廃棄物 廃プラスチック 80ℓ段ボール箱 1,500円/箱 引火性廃油 難燃性 10ℓポリ容器 100円/ℓ 可燃性 10ℓポリ容器 100円/ℓ ハロゲン廃液 20ℓポリ容器 100円/ℓ	339,680	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日	予定価格が20万円未満のため(1者単価契約) 契約できる相手方が1人しかない
清掃業務	入札	1,887,600	月額(税込) 157,300円	1,887,600	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	

白衣洗淨業務	随意契約	540,000	白衣 ナイロン 260 円/枚 綿 500 円/枚 ジャンパー 800 円/枚	522,324	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	予定価格が20万円未満のため(1者単価契約) R7年度も単価に変更なしのため、継続契約とした
--------	------	---------	---	---------	------------------------	---

以下の情報発信、ホームページ等の保守管理については、制作業者に委託を行った。(単位:円)

業務名	選定方法	予算額	決算額	期間	随契理由
HP ホスティング	随意契約	103,400	103,400	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	HPの委託先である必要があるため(1者見積)
機器予約システムサーバー管理	随意契約	228,800	228,800	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	機器予約システムの委託先である必要があるため(1者見積)

e リース契約等について

業務で使用する物品や公用車のリース契約等を行った。(単年度換算 単位:円)

リース物件	選定方法	予算額	決算額	リース期間	備考
PC 8台	随意契約	297,000	297,000	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	職員用リース (60ヶ月)
PC 2台	随意契約	23,430	23,430	令和7年1月1日～ 令和11年3月31日	職員用リース (51ヶ月) R6: 21,300円 R7-R11: 85,200円
ノートPC 3台	随意契約	154,440	154,440	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	共用リース (60ヶ月)
複写機	随意契約	224,400	224,400	令和6年4月1日～ 令和11年3月31日	リース (60ヶ月)
公用車	随意契約	316,800	158,400	令和6年4月1日～ 令和7年11月31日	リース(20ヶ月) 中途解約 R7年度は8ヶ月分のみ
公用車	随意契約	101,200	101,200	令和7年12月1日～ 令和11年3月31日	リース(40ヶ月) R7年度は4ヶ月分のみ

f 動物飼育および実験の管理について

動物飼育器材の準備業務を委託契約している業者や器材洗淨等の業務にかかる設備の使用について合意提携をしている鳥取大学・動物実験施設と連絡調整を行い、円滑に実験実施ができるよう努めた。また利用者からの飼育器材準備に関する突発的な要望に対しても極力対応できる体制をとり、適正な実験となるよう支援した。

g 化学物質の管理について

とっとりバイオフィロンの管理運営に関する協定書(以下「協定書」という。)に基づきとっとりバイオフィロン化学物質管規則(平成31年4月1日施行)を定め、実験、施設管理で

必要となるキシレン、メタノールなどの薬品・有害物については、施錠してある倉庫内の薬品庫に保管し、使用時には受払簿に記載・確認し、厳重に管理した。

職場巡視・化学物質管理委員会およびリスクアセスメント安全衛生教育のセミナーを実施し、入居企業・開放実験室利用者への化学物質の取扱い及び実験環境の整備推進を行った。

h 実験機器の管理について

実験機器については、法定保守点検のほか、日常点検・定期点検を行い、不調等が確認された場合、設置業者またはメーカーによる修繕の対応を行った。

(保守・修繕 対応状況)

実施日付	機器名	内容	対応結果	費用<税込> (円)
5月12日 11月20日	セルアナライザ	保守点検	良好	2,156,000
5月27日	倒立型生物顕微鏡	不具合による修繕	良好	49,170
5月27日	プレートリーダー	保守点検	良好	292,600
8月20日	共焦点顕微鏡	保守点検	良好	1,911,360
8月21日	染色体解析専用顕微鏡	保守点検	良好	1,056,000
8月21日	フリーザー	不具合による修繕	部品交換・良好	61,380
8月22日	実験台コンセント	故障による修繕	部品交換・良好	17,820
9月16日	電子天秤	不具合による修繕	部品交換・良好	31,350
9月17日	電子天秤校正	保守点検	良好	105,820
10月22日	フリーザー (313)	不具合による修繕	部品交換・良好	61,380
11月4-6日	クリーンベンチ3台・安全キャビネット8台・ドラフトチャンバー7台・CO ₂ インキュベータ10台・純水製造装置1台・オートクレーブ7台	法定点検	良好	1,419,000
12月9日	超遠心分離機1台・大型遠心分離2台・スイング型冷却遠心機2台	法定点検	良好	332,200
12月11日	リアルタイムPCRキャリアプレーション	法定点検	良好	316,800

(更新機器)

品名	銘柄・規格	数量
細胞培養モニタリングシステム	CM30-ST-SET (株)エビデント製	1
CO ₂ インキュベータ	IP600 ヤマト科学(株)製	4

i 施設修繕について

昨年から引き続き、空調や換気設備の不具合による施設内での結露、動物飼育室内での水漏れ、停電などがあった。不調等が確認された場合、設置業者による対応を行った。

(対応状況)

実施日付	機器名	内容	対応結果	費用<税込> (円)
4月4日	排水モニターシステムフ ロートスイッチ交換	不具合による修繕	部品交換・良好	72,600
4月25日	混合水栓(管理室)	水漏れ	部品交換・良好	6,314
5月1日	換気設備(311)	不具合による修繕	良好	176,000
6月26-27日	エアコンドレンパン	保守点検	良好	101,200
7月2-3日	恒温恒湿装置	保守点検	良好	1,287,000
7月24日	無停電電源装置	メンテナンス	バッテリー交換・良好	18,700
7月31日	換気設備(313)	不具合による修繕	良好	176,000
10月16日	エアコン用リモコン (324)	不具合による修繕	部品交換・良好	56,760
10月16日	酸素濃度計	保守点検	良好	195,800
11月7日	動物飼育室空調機温度異 常	不具合による修繕	部品交換・良好	176,000
12月5日	LAN設備	不具合による修繕	部品交換・良好	156,200
12月8日	非常用予備発電設備	不具合による修繕	部品交換・良好	104,500
2月3日	エアコン(312)	不具合による修繕	部品交換・良好	402,600
3月4日	恒温恒湿装置	不具合による修繕	部品交換・良好	77,000

j 事故・事件の防止措置と緊急時の対応等について

施設管理に当たっては、火元責任者を定め、日頃から火災、事故等を防止するため職員の巡回により施設内の安全確認を行っている。また、災害時緊急時においては、施設内および実験動物の緊急時対応マニュアルに沿って、利用者の避難、誘導、安全確保、必要な通報等についての確な対応をすることとしている。

k 施設環境・実験環境向上への取り組み

- ・協定書別記1-第2-4に基づき飲料水の自動販売機を設置。(平成23年8月設置)

設置台数：1台

設置場所：とっとりバイオフィロンティア1階

手数料額：49,752円(取扱手数料率：販売価格の22.407%)

l 職員の資質向上に向けた研修等の実施について

Web配信による日本バイオインダストリー協会(JBA)、(公財)木原記念横浜生命科学振興会のバイオベンチャーアライアンス(BVA)、日経バイオテック(機構が会員であり定期購読中)等が主催するセミナー等に積極的に参加し、技術に対する最新情報の収集、参加者とのネットワーク構築に努めるとともに職員の資質向上に努めた。また、動物飼育施設を併用している当施設においては専門知識を有する職員が必要なため、実験動物2級試験を取得した。

○PR活動等

- a TBRF（トットリベーシックリサーチフォーラム）でTBFの事業概要と利用のご案内
「ライフサイエンスのシリコンバレーを目指して—とっとりバイオフィロンティアの事業概要と利用のご案内」
日 時：令和7年5月19日（月）18：00～19：00
会 場：鳥取大学医学部内
- b 山脇有尾類研究所・鳥取大学連携 環境学習交流会 ポスター展示・体験学習講師
日 時：令和7年8月3日（日）8:30～16:00
会 場：鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター
日 時：令和7年8月4日（月）10:30～16:00
会 場：鳥取大学医学部・とっとりバイオフィロンティア
- c 中高校生向けの科学ワークショップ開催案内を県内の学校へ配布
夏休み実験教室「DNA探偵団 星空舞を探せ」
日 時：令和7年8月7日（木）（定員9名）
会 場：とっとりバイオフィロンティア
- d 第22回中海環境フェア in よなご ポスター展示・ろ過体験・グッズ配布
日 時：令和7年8月23日（土）
会 場：米子食品会館
- e とっとり産業未来フェス TBF 出展 パネル展示・顕微鏡・クイズ企画を実施
日 時：令和7年11月3日（月）～4日（火）
会 場：米子コンベンションセンター
- f 鳥取大学医学部附属病院外来廊下通路でTBFパネル展示
期 間：令和7年12月1日（月）～12月26日（金）
- g 鳥取県立図書館TBFパネル展示 順次、県内高校へ巡回
日 時：令和8年1月～2月 県内高校へは3月～
- h 中海テレビ「Road to 2030 ～SDGsで考えるふるさとのミライ～」
日 時：令和8年2月3日（火）（TBF取材）
内 容：細胞培養モニタリング装置 入居者事業内容 ワークショップ取組紹介
放 映：令和8年2月28日（土）～ リピート放映
- i 新聞報道等（とっとりバイオフィロンティア名の記載がある記事のみ）1件

新聞・雑誌等	日付	概 要
日経バイオテク	10月27日	特集◎国内レンタルラボ大調査2025【前編】レンタルラボ、民間企業による施設開設と大規模な施設整備が活発に 国内のバイオスタートアップ向けレンタルラボ・シェアラボでTBFが記載

j 企業訪問（Webも含む） 往訪 27件 来訪 22件 全 49件

k 視察対応 11件

l 専門家活用 26件（人材育成、化学物質委員会、入居審査会、事業運営委員会 等）

m とっとりバイオフィロンティアの開放機器利用に対する謝辞掲載論文・雑誌等 3件

	著者	タイトル	雑誌名等
1	Genki Hichiwa, Yasuhiro Kazuki, et al.	Targeting of bowel tissue by fully human antibodies cross-reactive with human and mouse GPA33 antigen	Biomedicine & Pharmacotherapy DOI: 10.1016/j.biopha.2025.118336
2	Shusei Hamamichi, Yasuhiro Kazuki, Kazuma Tomizuka et al.	Rapid immunization and antibody redesign platform discovers broadly neutralizing antibodies against non-immunized SARS-CoV-2 variant	Molecular Therapy DOI: 10.1016/j.ymthe.2025.10.020.
3	Haochen Tu, Mitsuo Oshimura & Yasuhiro Kazuki, et al.	Rejuvenation of Mesenchymal Stromal Cells via Partial Reprogramming Enables Scalable Generation of Transcriptionally Diverse MSC Libraries	Stem Cell Research and Therapy

○利用者支援の実施

- a バイオ分野の動向（JBA創薬モダリティ基盤研究会等）やニーズを調査し、入居企業の事業推進に直接あるいは参考となる役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。
- b 機器老朽化に伴う買い替えを行い、専門的な解析機器については業界標準に対応した内容へとバージョンアップを行った。使用方法の変わった機器については、利用者へ向けた機器利用セミナーを実施した。
- c 動物飼育室の微生物モニタリングを定期的に行い、SPFグレード相当の品質保証を行った。また遺伝子組換え実験安全委員会および動物実験委員会の運営を行い、コンプライアンスに沿った実験施設運営を行った。また、動物飼育室の停電、水漏れ、温湿度管理システム等の緊急時発生に対する環境整備や対策を行った。
- d 細胞培養モニタリングシステムを導入により管理運用を構築した。従来の研究行程等を自動的にスマート化することにより、入居企業の研究ニーズをサポートできるものとなった。
- e バイオ系専門大型展示会への共同出展を実施した他、新たな取組みとしてオンライン形式でのビジネスマッチングの展示サポートを行い、新規企業とのマッチングにより販路拡大の支援をすることができた。

- f 人材育成セミナーは現地開催と合わせ WEB でも視聴できるハイブリット開催を実施した。また、当日参加できない場合や、繰り返し視聴を希望する受講者の声も多く、期間限定のアーカイブ視聴を可能とし、要望に応えた。

セミナー 開催数 15講座 (人材育成セミナー12回、科学ワークショップ1回、化学物質委員会に関するセミナー2回)

受講者数 延べ725名 (セミナー716名、ワークショップ9名)

(バイオ人材育成実施講座)

	開催名	実施日	受講者数	概要
1	再生医療・創薬のための AI 技術を応用した細胞の非破壊画像品質評価～実験屋と解析屋二面性を磨く～	4/25	88	細胞分子情報学の分野において、細胞画像情報から細胞の定量評価、予測技術、自動培養装置開発、薬剤評価方法開発など、さまざまな細胞の品質や培養技術の定量化などで成果を上げる講師より、具体的な研究成果の事例をもとに、生物の実験能力とバイオインフォマティクスによる解析力、“実験屋と解析屋の二面性を磨き併せ持つことで、目の前の問題をより工業的・実践的に解決しうることを、将来展望とともに解説。
2	契約交渉のポイント (秘密保持契約と共同開発契約)	5/16	27	共同開発を円滑に進め、将来的な紛争を防ぐために最低限知っておくべき契約理論を解説。
3	化学システム工学の方法論と思考とで創造する未来医療～化学、工学、生物、医学の連携による社会実装～	6/2	40	近年、医療技術の進歩により、予防・診断・治療を大幅に前倒しすることで、持続可能な高度ヘルスケア社会の構築が求められている。化学システム工学の視点から、この社会のデザインに貢献する革新的な医療技術について紹介。
4	化学物質セミナー「(安全衛生教育) 第1回：保護具の必要性と管理」	6/13	30	保護具の必要性と管理について学ぶ
5	あきらめなければ夢 100%～あなたがいてくれたから～「本氣」を受け止めた医療従事者たちが導いた奇跡～	6/20	177	トライアスリート (チャンピオン) の福元哲郎氏を招いて講演。福元氏は、重度のけがを乗り越えた自身の経験、医療従事者との深い絆、そして「諦めない心」によってもたらされた奇跡のような回復の体験を通し、「本氣の力」「希望の生まれる瞬間」「夢、理想を引き寄せる予祝の実践」「人との信頼関係の尊さ」を講演。
6	未来をつなぐ小さな心の物語 衣料から医療への挑戦 下町 ロケット 2リアルガウディ計画	7/10	46	100 人に 1 人が抱える先天性心臓疾患。医師と技術者の情熱が出会い、生まれた革新的な「心・血管修復パッチ」。研究者と技術者の挑戦が織りなした開発の軌跡について講演。

7	夏休み実験教室 DNA 探偵団 星空舞を探せ	8/7	9	中高生向けとっとりバイオフィロンティア人材育成ワークショップを開催し、米粒から DNA を抽出し、「星空舞」の品種判別を試みる。
8	実験サンプル海外輸送の基本 輸出入の実務、法規制、書類 作成をやさしく学ぶ	8/28	24	海外への実験サンプル輸送には、書類作成、関税対応、輸送中の補償など、専門的な知識が求められる。輸出入に不慣れな方を対象に、基礎からわかりやすく解説し、手続きや注意点について実務に即して紹介。
9	化学物質セミナー「リスクア セスメント研修会」	9/4	15	リスクアセスメントの概要と合わせ、実施ツールの一つである「CREATE-SIMPLE」について説明。
10	バイオテクノロジーのプロに なる！生物工学技術士養成講 座	9/23	81	技術士（生物工学部門）を目指す方へ、試験の概要から頻出分野の重点学習までを体系的に学べるプログラムを提供。過去の出題傾向を分析し、近年特に重要視されているトピックについて丁寧に解説。
11	競争から価値創造へ 戦わず して勝つ人材戦略「ブルー・ オーシャン思考で切り拓く未 来」	9/26	65	ブルー・オーシャン戦略に学ぶ。価値創造と人材活用の新視点から、競争を回避しながら新たな市場を創る“ブルー・オーシャン戦略”の考え方を軸に、限られた人材や資源をどう活かすか、組織の可能性を広げるための視点と実践ヒントを紹介。
12	構造予測 AI が拓く生命科学 研究の新展開 誰でもできる Alpha Fold 使用方法と活用 事例	11/10	28	構造予測 AI の技術的な解説から、他の AI プラットフォームとの比較、実際の研究・活用事例まで幅広く紹介。
13	バイオものづくり最前線 ラ ボから社会実装へ バイオ研 究者が知っておきたいスケ ールアップの基礎	11/11	28	基礎研究の成果を産業レベルで実現するための「スケールアップ」に焦点を当てる。フラスコ内の小さな成功を、大量生産へとつなげるために不可欠な微生物培養、細胞培養の基礎から、プロセス設計の具体的な課題、そして最新の数値流体力学（CFD）を用いた最適化手法まで、実例を交えて解説。
14	おいしく減塩をかなえる電気 味覚技術 エレキソルトが拓 く新しい食の健康	12/19	34	塩分過多による生活習慣病予防に向け、味覚科学と電気刺激の融合による減塩支援の可能性を一般・医療、福祉従事者・研究者・企業関係者に向けてわかりやすく解説。電気味覚技術エレキソルトを通じて「おいしく減塩できる未来の食技術」を紹介し、健康づくり・医療・科学をつなぐ新しいアプローチを広く発信。

15	サイバーセキュリティ 組織運営で大切な「5つのセオリーと実践」マイクロソフト社内システムでの知見から	2/27	33	政府が推進する「サイバーセキュリティ月間」に合わせ、研究現場に求められる実践的な対策を解説。バイオ研究×AI時代における典型的な攻撃手法と、組織規模・業種を問わず有効なセキュリティの考え方を、日本マイクロソフトでの実務経験をもとに解説。
----	--	------	----	--

○利用者からの要望・意見

利用者の要望、意見については入居者ヒアリングや日々の利用者とのコミュニケーション等で把握し、要望への対応、課題の解消に努めた。

(主な意見)

要望者	内容	対応
施設入居者	機器利用時間の予約する時に、予約時間のはじまり時間から自動的に1時間の終わり時間設定ができるようにしてほしい。	自動的に終わりの時間設定を1時間後になるように設定した。
〃	入居料の請求書を月初めに発行してほしい。光熱費の請求書は翌月払いにしてほしい。	入居者によって柔軟に対応した。
〃	(1008-00) プレートリーダー (Ensign) の R7.5/27 に実施したメーカー点検の作業報告書が欲しい。	作業報告書のデータをお渡しした。
施設入居者	カルタヘナ法研究二種省令・告示の改正内容についてレビューしてほしい。	遺伝子協の研修会、および改正点概要について入居企業・利用者への情報提供を行った。
〃	内勤者の人材を見つけてほしい。	内勤者募集の依頼を受け、人材を紹介。フォロー等を行い、新規採用 (8/1~)
〃	海外への実験サンプル輸送について、人材育成セミナーで講師をされた方にアドバイスを頂くため、繋がりをつけてほしい。	海外への実験サンプル輸送について、人材育成セミナーで講師をされた方との橋渡しを行い、双方で連携を保たれている。
〃	販売細胞製品についてカルタヘナ法の適用になるかどうかの問合せ	過去の他社事例をもとに、適切に根拠資料をクライアントへ提示すれば適用外として扱える旨回答した。
〃	ムカデが1Fにでるので、ムカデ専用のコールスプレーを調達してほしい。	調達し、お渡しした。
施設利用者	開放機器リアルタイムPCRを使って環境DNA解析を予定している。やり方を教えてほしい。	環境DNA解析の技術習得を目的とする実験基礎講習(全3回)を実施した。
	2階細胞実験室のセルアナライザで臨床検体を使いたい。	詳細を聞き取りし、当該実験は実施不可の旨、回答した。

(2) 管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

管理施設の利用に係る料金の収入および減免の状況

○利用料金等の収入の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用料金収入	1,812,308	1,555,170	1,827,541	1,912,432	2,030,786	1,809,163	2,228,240	1,781,657	1,901,195	1,735,762	1,738,066	1,745,227	22,077,547
実験室	220,800	220,800	220,800	220,800	220,800	193,635	247,965	193,635	247,965	220,800	220,800	220,800	2,649,600
居室	108,740	126,740	108,740	126,740	108,740	97,740	146,740	87,870	147,610	117,740	117,740	117,740	1,412,880
動物飼育室	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	61,040	732,480
オープンラボ	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	310,300	3,723,600
研修室		2,822	674	4,044	126		1,348	0	1,756	0	2,696	0	13,466
開放機器	376,460	359,080	401,830	389,260	414,220	389,330	397,720	394,370	441,330	414,090	344,500	343,500	4,665,690
光熱費(鳥大は先々月分)	601,008	330,268	585,957	628,168	740,280	748,958	710,927	573,922	556,954	501,352	540,670	522,527	7,040,991
動物飼育ケージ管理料(3F)	133,960	144,120	138,200	172,080	175,280	8,160	352,200	160,520	134,240	110,440	140,320	169,320	1,838,840
その他の収入(自販機+預金利息+カードキー再発行)		1,584	4,340	6,216	4,616	4,531	4,824	4,148	4,775	4,331	3,473	19,881	62,719
合計(利用料金収入+自販機)	1,812,308	1,556,754	1,831,881	1,918,648	2,035,402	1,813,694	2,233,064	1,785,805	1,905,970	1,740,093	1,741,539	1,765,108	22,140,266
未収金	9,636	-9,636	9,603	-9,603	9,000	246,356	-255,356	-146,331	146,331	0	0	162,814	162,814
機器未収金						6,700	-6,700	-37,608	37,608				0
居室等未収金	9,000	-9,000	9,000	-9,000	9,000	47,165	-56,165	-57,035	57,035				0
その他未収金(光熱費等)	636	-636	603	-603		192,491	-192,491	-51,688	51,688			162,814	162,814

○利用料金の減免の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	2	1	1	1	0	1	1	1	0	2	0	1	11
金額													
第30条第1項(地方公共団体の職員)													0
第30条第2項(商工団体の講習会等)													0
第30条第3項(離職者の創業目的)													0
第30条第4項(入居利用者の利用)	630	126	756	126	0	252	252	252	0	504	0	252	3,150

(3) 委託業務に係る経費の収支状況

収入

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
利用料金収入	8,519,000	8,518,560	440	賃貸料収入
機器利用料収入	4,515,000	4,679,156	△164,156	機器+研修室利用料
施設利用料収入	9,216,000	9,042,645	173,355	光熱費+3Fケー ジ管理料
その他収入	292,000	219,990	72,010	自販機+雑収入+ 企業負担金
委託料収入	90,880,000	90,880,000	0	
合計	113,422,000	113,340,351	81,649	

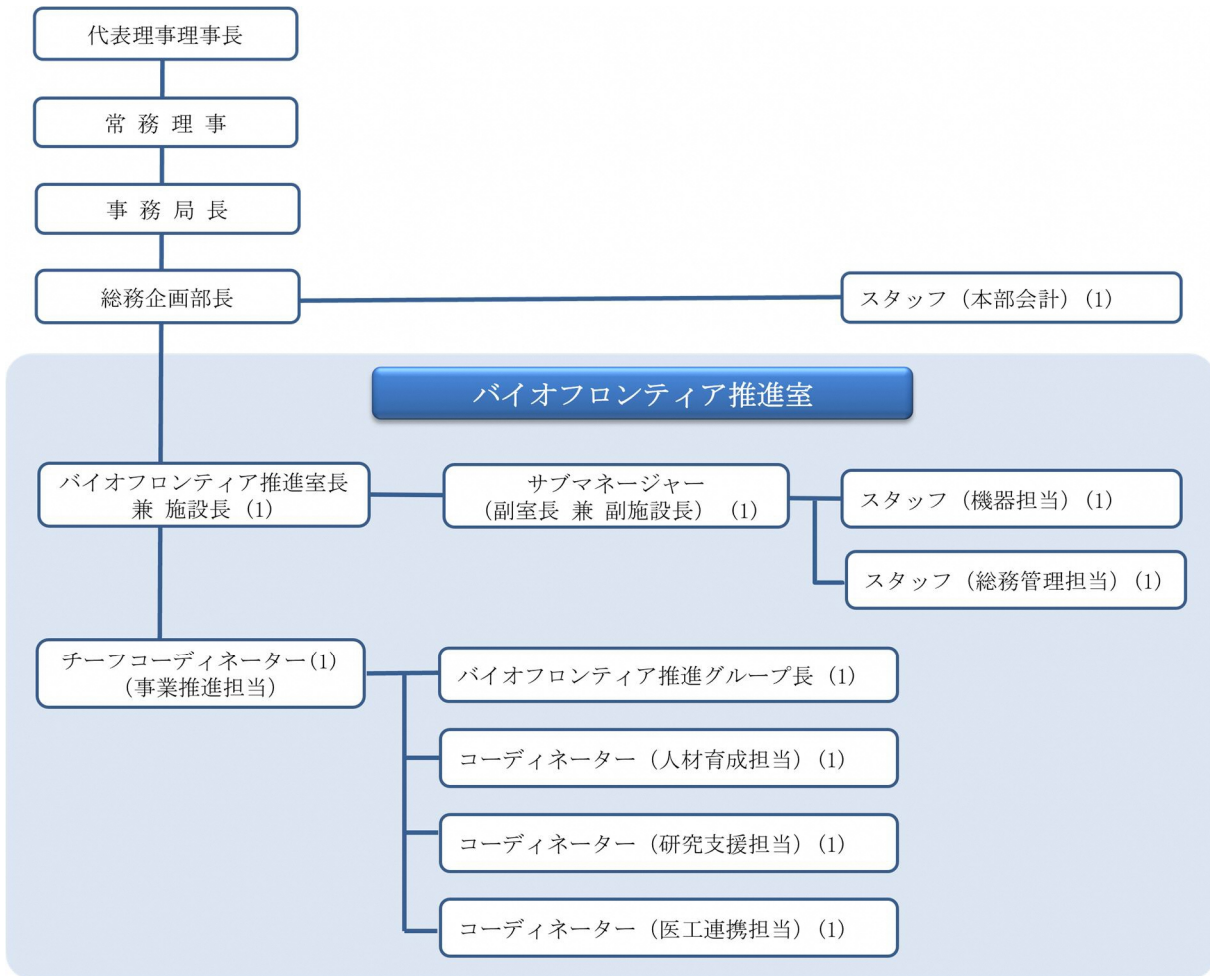
支出

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額	備考
人件費	41,168,000	38,608,062	2,559,938	
賃金	50,000	15,600	34,400	
管理運営費	72,204,000	62,384,508	9,819,492	
委託費	9,528,000	8,898,654	629,346	
保守料	17,944,000	16,729,328	1,214,672	
旅費交通費	3,234,000	2,497,425	736,575	
通信運搬費	826,000	795,327	30,673	
消耗品費	6,636,000	5,571,978	1,064,022	
消耗什器備品費	450,000	298,987	151,013	
食糧費	400,000	141,260	258,740	
修繕費	2,501,000	1,972,124	528,876	
印刷製本費	200,000	66,000	134,000	
広告宣伝費	635,000	611,485	23,515	
燃料費	33,000	15,558	17,442	
光熱水費	9,270,000	8,989,242	280,758	
賃借料	2,920,000	2,656,085	263,915	
保険料	757,000	689,320	67,680	
諸謝金	1,881,000	1,210,134	670,866	
租税公課	5,389,000	4,223,243	1,165,757	
負担金	1,406,000	1,405,210	790	
支払手数料	70,000	19,548	50,452	
寄付金	7,419,100	4,995,100	2,424,000	寄付処理 過年度購入資産< 非現金取引> (2,284,718円) R7 購入機器 (4,995,100円)
研修費	600,000	598,500	1,500	
機器装置購入支出	0	0	0	
什器備品購入支出	104,900	0	104,900	
合計	113,422,000	101,008,170	12,413,830	

※収入に対する支出の余剰金は県に返納 (113,340,351-101,008,170=12,332,181円)

(4) 管理体制の状況（令和8年3月31日時点）



(5) 管理施設の職員に係る雇用条件及び労働状況（令和8年3月31日時点）

（別表1）のとおり

(6) 障がい者就労及びシルバー人材センター等からの物品、役務の調達実績

米子広域シルバー人材センターに植栽管理業務を依頼し整備を行った。

障がい者就労施設及びシルバー人材センター等からの物品、役務の調達実績

調達時期	調達物品名称	調達先の名称	調達数量	調達金（円）	備考
令和7年 12月5日	植栽樹の剪定 および枝木処分	とっとりバイオ フロンティア	1式	51,000	

